

ヨゼフ会静修会（2013 年 11 月）ごミサでの共同祈願

1. フィリピンの台風で家族や友人を失った被災地の方々の笑顔が早く戻りますように。また聖心に集う共同体として、子供も私も神様に生かされ愛されていることを知り、他の人々の祝福となることができますように。
2. 今年も無事にヨゼフ会静修会に多くの会員が集い、共に学べたことに感謝いたします。聖書週間を迎えるにあたり、今回この静修会で聖書を通して学んだ多くのことを、自分の周囲の人々に、少しでも還元することができますように。
3. この様な素晴らしい学びの機会を与えて下さったことに感謝いたします。この度の台風で被災したフィリピンの方々が困難なときを乗り越え、幸せを感じられるようになることをお祈りいたします。この 2 日間共に学んだヨゼフ会の皆が、日々の生活の中で学びや気づきを実践し、家族や周囲の人々に良い影響を与えることができますように。
4. 後藤神父様、シスター、そしてヨゼフ会の皆様のために祈ります。不勉強な我々に、静修会という貴重な考える機会をお与えくださり、ありがとうございます。今後もこのような有意義な会がいつまでも続きますように。そして、後藤神父様、シスター、我々の家族が、健やかな日々を送ることができますように。
5. 昨日、皆で聖書や講話を通して分かち合ったように、満たされているときにはそれに感謝して謙りの心を、求めている人がいるときにはその求めを受け入れる心を、日々の生活の中で持ち続けることができますように。
6. 我々はこの学びを通し、神様の自分や他人、さまざまな事に対する寛大さを学びました。そしてここで得たものを家族で共有し実践できますように、また娘たちがそのような大人に成長しますように。
7. 今日ここに集えることとわれわれ家族の健康に感謝いたします。マルタのように人を妬む弱い心を強めてください。また、今なお困難な状況にあるフィリピンの人々に希望の光とあなたのお恵みをお与えください。
8. 今回同じ悩みを持つ父親同士が語り合える機会が得られたことに感謝いたします。父親と子供の間を築き上げるうえで大切なことは何かということを分かち合えることができました。この学舎で学んだことを、各自の家族・職場で生かしますように。
9. 呪う者を祝福し、辱める者たちのために祈ることができますように。
10. 丹沢学舎の 2 日間で学び、分かち合いの中から得た内容・教訓を各人が持ち帰り、各家庭の日々の生活の中にある「祈り」を通じて、家族が心豊かな生活を過ごせるよう実践したいと思います。
また、私達の娘と同じ時代に生きる、世界中の子供達が、戦争や貧困から解放され、心豊かな生活を送ることが出来ますよう、聖霊の光で照らして下さい。
11. 格差社会の現代において、私たちはついつい人と比較をし、見返りを求め、自分自身の肯定をしがちです。自らを謙遜し神様と対話ができるようお導きください。
12. 聖心女子学院に通う児童生徒とその家族・卒業生の皆様に神様の祝福がありますように。また、台風 30 号の被害を受けられたフィリピンの人々が、一日も早く復興を遂げることができますように。